

(様式4)

平成 29 年度 東北ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

「地域に責任を持った活動の強化」

2. 目的

「地域における保健師の保健活動に関する指針」を活用した保健師活動の可視化と質の向上を図る目的で、東北ブロック支部長会議、ブロック研修会を開催する。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	平成 29 年 8 月 26 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 30	青森市文化観光交流 施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ	<東北ブロック支部長会議> 参加者 14 名 ・活動報告 ・協議 ・情報交換 等
2	平成 29 年 8 月 26 日 (土) 13 : 15 ~ 16 : 30	青森市文化観光交流 施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ	<東北ブロック研修会> 参加者 77 名 1 全国保健師長会活動報告 全国保健師長会 岡島常任理事 2 研究報告 「地域包括ケアシステム構築の推進にかかる 保健師の役割に関する研究」 埼玉県狭山保健所 斉藤富美代 氏 3 講演「地域に責任を持った活動のために保 健師に求められること」 札幌市保健福祉局高齢保健福祉部 地域包括ケア推進担当部長 岡島さおり氏 4 グループワーク 「地域に責任を持った活動を進めるために は」

4. 結果・課題

- ・東北ブロックは、エリアが広範囲であるため、1日間で支部長会議、ブロック研修会を開催した。
- ・支部長会議においては、平成 28 年度の各県支部活動状況及び平成 29 年度活動計画の情報交換を行うと共に、各県から意見交換したいテーマとして出されていた会員拡大に向けた取り組みや他の職能団体との連携、人材の確保、キャリアラダーの作成状況等について情報交換があった。
- ・ブロック研修会の講演では、保健師活動の原点に返って仕事をしなければと思った、保健師としての視点を取り戻すことに繋がった等の意見が聞かれ、グループワークを通して他自治体の活動を知ることが出来て参考になったとの意見が多かった。

5. 支部活動の特徴

- ・支部研修の開催方法の一つとして、看護協会の保健師職能委員会と共同開催にするなどの工夫をしている。
- ・支部活動として、会報の発行をしている。(岩手県、秋田県、山形県、福島県)
- ・看護系大学と連携し、会員拡大に向けた取り組みをしている。(青森県、宮城県)
- ・統括保健師の配置に向けては、事務分担に明記されている所と明確でないところがあり、人材育成プログラムやガイドラインが示されているが、ばらつきがあるという声もあった。

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○理事	加賀谷久子	青森県三八地域県民局地域健康福祉部保健総室健康増進課
理事	後藤未央子	岩手県二戸保健所保健課
青森県	山口久美子	青森県中南地域県民局地域健康福祉部保健総室健康増進課
岩手県	花崎 洋子	岩手県大船渡保健所保健課
宮城県	松野あやえ	宮城県北部保健福祉事務所栗原地域事務所疾病対策班
秋田県	阿部 栄子	秋田県仙北市福祉保健部保健課
山形県	白田 裕子	山形県最上保健所地域保健福祉課
福島県	鈴木 栄子	福島県県南保健福祉事務所健康福祉部

責任者○印